



第472号

スズキ労連

2021年

新春号

スズキ関連労働組合連合会

静岡県浜松市南区増楽町20

電話(053)447-3079 FAX.053-440-2838

発行人 武藤憲司

編集人 村松直樹



謹賀新年

スズキ労連 会長 武藤 憲司



スズキグループで働く組合員とご家族のみなさん、あけましておめでとうございます。

旧年中は、スズキ労連の諸活動に対して深いご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。

昨年を振り返ると、令和初のお正月を迎え、東京オリンピックの盛り上がりを期待し、スタートしましたが、世界的な新型コロナウイルス感染拡大により、日々の暮らしや働き方の大きな変化を経験した一年でした。新型コロナウイルスの感染リスクと背中合わせの中、医療従事者の方々をはじめ、ドライバー、スーパーやドラッグストアの従業員の方々など、多くの皆さんが最前線で対応いただいているからこそ、コロナ禍においても私たちの暮らしが成り立っていることを改めて認識した一年でした。私たちスズキグループで働く仲間も、生産、販売をはじめ、私たちの製品を待っているお客様に届けるために感染拡大防止に努めながら、ご家族のご理解、ご協力のもと、日々仕事に従事してきたと受け止めています。

本年は、ウィズコロナ、アフターコロナを前提に、今まで当たり前だったことが当たり前でなくなり、「新しい日常」に即した生活様式の継続が求められます。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、WEB会議やテレワークなどの働き方が一層拡大していくなどの良い影響も期待されます。一方で、私たちが働く自動車産業を取り巻く環境は、昨年末に「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」という政府の方針が示されたことにより、2030年代半ばまでにEVをはじめとする自動車の電動化への目標が掲げられ、自動車産業の大変革期に伴う対応も相当早く進んでいく局面にあります。これらの変化への対応については、私たち自身が環境変化に対応していくことはもちろん、規制や法律などの変更も伴うことから一層政治との関わりが重要になってくると思っています。

本年もスズキ労連の組合員一人ひとりが生き活きと働きながら、これらの変化を前向きに捉え、チャレンジできる社会、より安心して安全に働くことができる職場環境を実現するため、執行部一同、心ひとつに取り組みを進めて参ります。本年もよろしくお願い致します。

本年もよろしくお願い致します。

スズキ関連労働組合連合会 役員一同

スズキ労働組合

平岡ボデー労働組合

スズキ部品製造労働組合

スズキ輸送梱包労働組合

ベルソニカ労働組合

スズキ部品秋田労働組合

スニック労働組合

小楠金属・熱処理労働組合

スズキ部品富山労働組合

スズキ新潟販売労働組合

岐阜スズキ労働組合

スズキ販売労働組合

スズキ納整労働組合

スズキファイナンス労働組合

スズキ労連組織内議員

コロナを超えて 創ろう!元気の静岡県

静岡県議会議員 田口 章

組合員のみなさん、新年おめでとうございます。本年がみなさんにとって明るい年になりますようご祈念申し上げます。

昨年は世界史に残る年になりました。1年前、現在の状況を予測できた人はいなかったのではないのでしょうか。ワクチンや治療薬の開発をはじめ、今後、社会・経済がどのように進んでいくかは今年にかかっています。

まず気になるのは、延期された東京オリンピック・パラリンピックの開催です。コロナ克服の第一歩としてのメッセージを日本から発信できるよう期待したいと思います。新しい日常の中、ウィズコロナ、アフターコロナ時代をいかに築いていくか、取り組んでまいりましょう。

今年「選挙の年」でもあります。静岡県内自治体では中東遠地域をはじめ市長、議員選挙が行われるほか、6月には静岡県知事選挙、さらに秋までには衆議院選挙が行われます。コロナ禍で疲弊した地域社会・経済、そして人口減少という構造的課題、さらにDX（デジタルトランスフォーメーション）という技術革新の中、将来を見据えた選択の年になります。

「政治に無関心であることはできるが、無関係であることはできない」このことを肝に銘じ、一人でも多くの組合員のみなさんに関心を持ってもらえるよう、私も情報発信していきます。今年も元気いっぱいガンバリます。

よろしくお祈りします。



新年にあたり

浜松市議会議員 岩田 くにやす

新年明けましておめでとうございます。未だコロナの影響は大きいですが、本年もスズキ労連加盟組合員の皆さまが健勝なる一年を過ごされることをご祈念申し上げますとともに、旧年中の皆様的心からのご支援につきまして、改めて御礼申し上げます。誠に有難うございます。

さて浜松市では過去、市長の強力なリーダーシップのもとで行財政改革を断行し、12市町村合併直後にダブついた資産の整理や、借金返済などを推し進め、他都市と比べ類を見ないほど、財務体制の良い市となっています。そのため一部には「ケチケチしすぎる」「そのせいで道路はガタガタだ」などの批判があったことも事実です。

しかし昨年私たちを襲ったコロナウイルス感染症の対策が必要になると、スグに20億円もの予算を予備費に充てたり、対策事業に必要なキャッシュが足りないとするやスグに市債を発行したりと、機動的な対応ができていました。これは言わずもがな、日頃の行財政改革の成果です。既に借金が多ければ、新たな借金はできない訳ですから。

私は改めて行財政改革の必要性を感じましたし、その一つの手段である行政区の再編についても確実に実施に漕ぎつけることができるよう、尽力しなければならないと決意を新たに致しました。このことは皆さんにしっかりとお誓い申し上げたいと思います。

今後皆さんからのご指導、ご鞭撻を頂けるようお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年もよろしくお祈り致します。



「新機一転」

参議院議員 いそざき 哲史

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大に始まり、その勢いは世界中の人々の命や健康、暮らしを脅かすほど、社会経済に巨大なうねりを引き起こした、まさに歴史的な一年でした。その影響は収束しないままに年を越えても続き、7年半ぶりに新しい総理大臣の下で発足した政権でも、ウィズコロナ、アフターコロナのあり方が議論されています。

この様な状況の中で起こった野党再編にて、私自身は「無所属」となり、政党を基軸に議論が行われる国会において、活動の不便さも経験しました。しかし、本年からは心機一転。働く者の代表としての本来の立ち位置から、政局にとらわれ過ぎることなく、新型コロナウイルス感染症対策を中心に課題が山積みである中、少しでも早い経済、雇用情勢の改善に向けた議論をしていきたいと思っております。さらには、アフターコロナを「経済成長の新たな機会」と捉え、時代にあった産業政策を皆さんの職場や生活本位の視点から実現していくために、有意な提案を伴った活動に力を尽くしていきます。

コロナ禍を乗り越えて、明るく元気な一年に

参議院議員 はまぐち 誠

明けましておめでとうございます。

スズキ労連の皆さんには昨年も大変お世話になりました。ありがとうございました。

今年もコロナ禍を乗り越えて、明るく元気な一年にしていきたい！この思いを強くした年初です。

昨年はコロナ禍での雇用確保が最優先と考え、雇用調整助成金の拡充や特例措置の延長等、労働組合の皆さんと共に取り組んできました。今後も働く皆さんの雇用を守るため、全力で取り組んでいきます。

また、昨年大きく落ち込んだ国内販売を下支えするために、①エコカー減税、環境性能割等の減税措置を令和3年4月以降も延長②サポカー補助金の4月以降の継続についても政府に働き掛けて来ました。日本経済にとっても、自動車の国内販売活性化は極めて重要です。国内販売を支援する政策の実現に向けて、今後も取り組んでいきます。

最後になりますが、今年もスズキ労連の皆さんにとって素晴らしい一年となりますことを心からお祈りします。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます！



【編集後記】

新年あけましておめでとうございます。一年の計は元旦にあり、今年も何か目標を立てられましたでしょうか。「目標を立ててもいつも続かないんだよね〜」という人も多いと思いますが、やる気を出すには、とりあえず簡単な事でもいいから、【やる】のが良いです。「だからその【やる】ができれば苦労しない」という声が聞こえてきそうですが、そういう人は行動をルーチン化するのがお勧めです。お菓子を摘まんだら【やる】、お気に入りの音楽を聴いたら【やる】、きっかけは何でも良いので、それを習慣化させるのです。みなさん、朝起きたら一番に何をしますか？歯を磨く？コーヒーを飲む？意識してやっている人は少ないと思います。やる気うとうまく付き合って継続していきましょう。 むーらー